

平成30年度 環境生活部の「実行宣言」

作成者	部長	吉田 敏昭
(評価者)	清掃行政担当理事	溝田 明

基本方針と使命

【使命】

豊かな自然環境に恵まれる松阪において、市民生活が及ぼす環境への影響を軽減するとともに市民が安全で安心して暮らせ、かつ一人ひとりが個人として尊重されるまちの実現を使命とします。

【基本方針】

- 一人ひとりが環境問題を「自分のこと」として捉え、環境の保全と創造に向け意識を高め、行動実践していくことで、めざすべき環境像「うるおいある豊かな環境」の実現をめざします。
- 廃棄物の発生抑制と再利用、再生利用及び熱回収の循環的な利用の促進やごみの適正な処理を行うことで、「ムダなく資源が循環しているまち」の実現をめざします。
- 日常の身近な犯罪や交通事故などの発生を抑制することで、市民の生命、身体及び財産を守り「安全で安心なまちづくり」をめざします。
- お互いの人権が尊重されるよう人権意識を高めるとともに、性別にとらわれることなく、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画意識を高めることで、一人ひとりが個人として尊重され希望と誇りをもって社会に参画できる地域社会の実現をめざします。
- 戸籍、住民基本台帳、印鑑登録などの業務における個人情報の適切な管理とともに、正確で迅速・丁寧な窓口対応により安心してご利用いただける環境を提供します。

『松阪市総合計画』 との関わり	4 人と地域の頑張る力（地域づくり）
	5 安全・安心な生活（防犯、防災）
	6 快適な生活（生活基盤の整備）
	7 市民のための市役所（行政経営）

平成29年度の評価

評価基準…A（90%以上）、B（70～89%）、C（50～69%）、D（30～49%）、E（29%以下）

宣言①	環境施策の計画的な推進を図るため「第二次環境基本計画」を策定し、環境にやさしい市民が暮らすまちをめざします。	評価	A
【主な理由】 「第二次松阪市環境基本計画」を策定しました。めざすべき環境像を「うるおいある豊かな環境につつまれるまち まつさか」とし、その実現にあたり6つのビジョン、基本方針、環境目標を設定し施策を展開することで、環境にやさしい市民が暮らすまちをめざします。			

【部局長シート】

<p>宣言②</p>	<p>効率的かつ適正なごみ処理（分別、収集、処理）体制の構築について検討します。</p>	<p>評価</p>	<p>A</p>
<p>【主な理由】 効率的かつ適正なごみ処理体制の構築をめざして住民のニーズを把握し、ニーズにマッチした収集方式や収集頻度の適正化の検討を行い住民サービスの向上に努めました。また、収集業務の起点となるごみ集積所の整備について、管理している自治会等へ支援を行いました。</p>			
<p>宣言③</p>	<p>3R活動等を推進し、一人一日当たりのごみ排出量900g以下をめざします。</p>	<p>評価</p>	<p>A</p>
<p>【主な理由】 平成29年度は、生ごみ堆肥化に取り組む支援団体の環境大臣表彰を支援するなど、市民と一体となった3R活動を推進しました。平成29年度における一人一日当たりのごみ排出量は、災害廃棄物の大量発生（388t）といった特殊要因を除くと一人一日当たり904gで概ね達成している状況です。</p>			
<p>宣言④</p>	<p>ごみ処理・処分施設の適正管理と発生するごみを迅速かつ衛生的に処理します。</p>	<p>評価</p>	<p>A</p>
<p>【主な理由】 各施設の適正かつ計画的な維持管理ができ、焼却炉施設については年間稼働日数は359日となり、効率的で安定したごみ処理を行うことができました。</p>			
<p>宣言⑤</p>	<p>「証明書コンビニ交付事業」の開始を踏まえマイナンバーカードの普及に取り組みます。</p>	<p>評価</p>	<p>A</p>
<p>【主な理由】 平成30年2月1日、証明書コンビニ交付サービスを開始しました。コンビニでの証明書発行件数の増加は、マイナンバーカードの普及率に大きく左右されるためマイナンバーカードの普及啓発の強化や申請補助などに取り組んだ結果、平成30年3月31日現在、マイナンバーカードの交付率は目標の10.0%に対し10.47%となっています。</p>			
<p>宣言⑥</p>	<p>交通事故死傷者数748人及び刑法犯認知件数1,374件（平成28年度）以下をめざします。</p>	<p>評価</p>	<p>A</p>
<p>【主な理由】 交通事故死傷者数は646人、刑法犯認知件数は1,240人です。それぞれの件数は年々減少傾向にあり、地域や関係団体、関係機関との連携により交通安全や防犯対策事業を繰り返し実施してきたことや全国的に様々な対策が展開されていることなどが要因ではないかと推測されます。</p>			
<p>宣言⑦</p>	<p>こころの相談窓口の周知や関係機関、団体との連携により自殺者数26人以下をめざします。</p>	<p>評価</p>	<p>B</p>
<p>【主な理由】 平成29年の自殺者数は30人で目標の達成には至りませんでした。自殺に追い込まれるという危機は「誰にでも起こりうる危機」であり、危機に陥った場合には誰かに助けを求めることができるよう相談窓口の周知を行ってきました。また、関係各課が実施する事業においては、「生きることの支援」であるとの視点から実施しているところです。自殺の背景には様々な社会的要因があり、来年度は、「自殺対策計画」を策定し全庁的な取組として包括的な支援をめざします。</p>			

【部局長シート】

部局マネジメント方針				
	業務の状況報告や情報の共有があたりまえにできる職場体制をめざします。	評価	A	
	新たな取組に対する提案を具申できる職場環境をめざします。	評価	A	
	職員の資質の向上に努めます。	評価	A	
	市民に対し、常に親切、丁寧な対応に心がけ市のイメージアップに努めます。	評価	A	
	交通事故の抑止の取組は、当部局が担任していることの重みを常に意識し、危機感を持った行動や意識の高揚を図ります。	評価	A	
	作業現場における安全対策の確立をめざし安全衛生委員会を毎月開催するとともに毎朝の安全作業等の確認ミーティングを実施します。	評価	A	
『松阪市総合計画』関係施策の進捗度				
①	施策名	4-④ 人権の尊重	目標 (H31)	評価
	活動指標	人権講演会の参加者数	500人	E
	活動指標	人権講演会の参加者満足度 (会場アンケート)	95.0%	E
	活動指標	多言語による生活情報などの提供、窓口業務支援件数	6,000件	A
	活動指標	自殺者数	26人	B
②	施策名	4-⑤ 男女共同参画の推進	目標 (H31)	評価
	活動指標	「男女共同参画」のことばの認知度※	60.0%	-
	活動指標	家事・育児・介護にかかわっている男性の割合※	80.0%	-
③	施策名	5-① 交通安全対策の充実	目標 (H31)	評価
	活動指標	交通事故死傷者数 (1月~12月)	770人	A
	活動指標	交通マナーが悪いと感じる市民の割合	30.0%	E
④	活動指標	交通安全サポート事業所の登録数	70事業所	C
	施策名	5-③ 防犯対策の充実	目標 (H31)	評価
	活動指標	刑法犯認知件数 (自転車盗) (1月~12月)	180件	A
⑤	活動指標	特殊詐欺件数(1月~12月)	10件	E
	活動指標	自主防犯パトロール団体数	44団体	A
	施策名	6-① 自然と生活の環境保全	目標 (H31)	評価
⑥	活動指標	1人1日当たりのエネルギー (電気) 消費量※	6.17kWh	-
	活動指標	生活排水処理施設整備率	87.9%	A
⑥	施策名	6-② 資源循環型社会の推進	目標 (H31)	評価
	活動指標	1人1日当たりのごみの排出量 (集団回収を除く)	890g	C
	活動指標	廃棄物 (ごみ) 対策の整備に満足している人の割合	28.0%	E
	活動指標	啓発講座開催数	30回	A

※評価対象外の活動指標について

調査周期及びその他事情 (算出基準の変更等) により、平成29年度実績が測定できない活動指標については「評価対象外」としています。



平成30年度 環境生活部の「実行宣言」	
宣言①	一人ひとりが環境問題を「自分のこと」として捉え行動できるよう環境の保全や創造に向けた教育・学習を推進します。（三重県環境学習情報センターを活用した環境学習の園児・児童生徒数1,000人以上）
宣言②	各般の行政領域にまたがる施策を整合性を持って効果的に推進するため「松阪市自殺対策計画」を策定します。
宣言③	交通事故死傷者数646人及び刑法犯認知件数1,240件（平成29年度）以下をめざします。
宣言④	3R活動を推進し、一人一日あたりのごみ排出量900g以下をめざします。
宣言⑤	新最終処分場施設整備について、住民の理解を得て、事業に着手します。
宣言⑥	環境学習の一環として、小学生を対象に「パッカー車によるごみ投入体験」や「ごみ分別学習」等の出前授業を行うことにより、小学生の時からごみに対する意識を高める取組を行います。
宣言⑦	オリジナル婚姻届を作成することで市への愛着やイメージアップに繋がります。
部局マネジメント方針	
業務の状況報告や情報の共有があたりまえにできる職場体制をめざします。	
市民に対し、常に親切、丁寧な対応に心がけ市のイメージアップに努めます。	
作業現場における安全対策の確立をめざし安全衛生委員会を毎月開催するとともに毎朝の安全作業等の確認ミーティングを実施します。	

【課長シート】

組織名	環境課	作成者（評価者）	課長 荒川 浩和
関係する 「実行宣言」	平成29年度	環境施策の計画的な推進を図るため「第二次環境基本計画」を策定し、環境にやさしい市民が暮らすまちをめざします。	
	平成30年度	一人ひとりが環境問題を「自分のこと」として捉え行動できるよう環境の保全や創造に向けた教育・学習を推進します。（三重県環境学習情報センターを活用した環境学習の園児・児童生徒数1,000人以上）	
関係する『総合計画』施策	6-④ 自然と生活の環境保全		
課の基本方針と使命			
<p>環境課は、快適で安全な生活環境の実現、環境にやさしい活動実践、省エネルギーの推進、さらには新たなエネルギー政策等、みんなで地球にやさしい生活をするこゝで、豊かな自然を身近に感じることができる環境づくりを推進しています。</p> <p>環境の保全に向け市民、市民団体、事業者、行政の取り組みの指針となる、第二次松阪市環境基本計画を平成29年度に策定しました。計画で示す「自分のこと化」を取り入れ、環境パートナーシップ会議を中心に、環境にやさしい行動の普及・啓発に取り組んでいきます。</p> <p>平成29年度に設立した自治体新電力会社により電力の地産地消及び再生可能エネルギー等の効率的な地域での活用による市公共施設の電気使用料削減と地域活性化をめざしていきます。</p> <p>動物愛護意識の高揚に向けた啓発活動を実施し、人と動物の共生する社会の実現に取り組みます。</p> <p>水環境の保全をめざし、単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽への転換促進に取り組みます。</p>			

平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

- ・ 第二次松阪市環境基本計画を策定しました。
- ・ 自治体新電力事業を実施するため「松阪新電力株式会社」を設立しました。
- ・ 斎場・火葬場事業費及び篠田山墓地管理事業費
 利用者の満足度の向上をめざし接遇研修を実施するとともに、朝礼などでの情報共有、窓口対応時の改善指導などにより業務改善を図りました。
- ・ 火葬施設解体事業費
 宮前火葬場解体工事に際し、地元への事前説明により合意のうえ、予定どおり火葬場の解体ができました。
- ・ し尿転送業務負担金
 安定的な転送業務を行うにあたり、受託事業者との協議を行いました。

【達成できなかったこと】

- ・ 環境パートナーシップ会議事業費の活動指標を「環境フェアの来場者数4,100人」と掲げましたが、台風18号により環境フェアが中止になったため目標を達成できませんでした。
- ・ し尿業者許可事業費の活動指標を「担当者会議開催回数2回」と掲げていましたが、個々の事業者と協議することで対応できたため、担当者会議は1回の開催となりました。
- ・ 戸別合併浄化槽整備事業特別会計繰出金について、一般管理経費、施設維持管理事業費、生活排水処理施設整備事業費の活動指標を「戸別合併処理浄化槽の新規設置数40基」と掲げていましたが、設置相談については40基あったものの、内8基については年度内完成に必要な工事期間の確保が困難な時期での申し込みであった為、32基の設置にとどまりました。

環境課 事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成29年度					平成30年度						
				予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標			方針	予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標			方針
1	浄化槽設置促進事業費	一般	6-①	65,855	/	行政チャンネルでの啓発回数			→ 現状維持	63,298	/	イベント等での啓発回数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						2回	2回	A				2回			
2	畜犬登録等事業費	一般	6-①	3,743	/	行政チャンネルでの啓発回数			→ 現状維持	3,765	/	イベント等での啓発回数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						2回	2回	A				2回			
3	行旅死亡人取扱事業費	一般	6-①	896	/	行旅死亡人の処理			→ 現状維持	896	/	行旅死亡人の処理			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						100%	100%	A				100%			
4	公衆便所管理事業費	一般	6-①	3,722	/	職員による毎月の見回り回数			→ 現状維持	3,770	/	職員による毎月の見回り回数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						3回	3~5回	A				3回			
5	共同簡易飲料水供給施設管理事業費	一般	6-⑦	1,700	/	木梶、栃谷両地区の水道組合との協議回数			↘ 縮小	300	/	木梶、栃谷両地区の水道組合との協議回数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						2回	3回	A				2回			
6	動物愛護推進事業費	一般	6-①	3,688	/	イベント等での啓発回数			→ 現状維持	3,719	/	イベント等での啓発回数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						3回	3回	A				3回			
7	環境衛生一般経費	一般	6-①	1,980	/	行政チャンネルでの啓発回数			→ 現状維持	2,564	/	イベント等での啓発回数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						2回	2回	A				2回			
8	戸別合併処理浄化槽整備事業特別会計繰出金	一般	6-①	75,952	/	戸別合併処理浄化槽の新規設数			→ 現状維持	78,168	/	戸別合併処理浄化槽の新規設数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						40基	32基	B				40基			
9	環境調査事業費	一般	6-①	5,649	/	騒音・振動等の調査箇所数			→ 現状維持	3,939	/	騒音・振動等の調査箇所数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						11か所	11か所	A				11か所			

環境課 事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成29年度				平成30年度							
				予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標		方針	予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標		方針		
10	環境啓発活動事業費	一般	6-①	1,868		イベント等での啓発活動回数		↗ 拡大	1,825		イベント等での啓発活動回数		↗ 拡大		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						7回	7回				A	8回			
11	Matsusaka-EMS事業費	一般	6-①	4,003		外部の視点を取り入れた外部監査の実施		→ 現状維持	1,263		外部の視点を取り入れた外部監査の実施		→ 現状維持		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						1回	1回				A	1回			
12	環境基本計画策定事業費	一般	6-①	5,370		環境基本計画策定委員会の開催回数		… 定期	729		計画の周知に向けた冊子の印刷と小学校等への配布		… 定期		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						9回	8回				A	1,400冊			
13	環境パートナーシップ会議事業費	一般	6-①	1,409		環境フェア来場者数		↗ 拡大	1,551		環境フェア来場者数		↗ 拡大		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						4,100人	0人				-	4,200人			
14	自治体新電力事業出資金	一般	-	4,500		プロポーザルの実施と新会社の設立		— 終了	0		-		— 終了		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						100%	100%				A	-		-	-
15	環境保全一般経費	一般	6-①	2,111		イベント等での啓発活動回数		↗ 拡大	1,714		イベント等での啓発活動回数		↗ 拡大		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						7回	7回				A	8回			
16	火葬施設解体事業費	一般	-	6,578		火葬場解体に伴う地元の合意		↘ 縮小	2,500		火葬場解体に伴う地元の合意		— 終了		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						100%	100%				A	100%			
17	斎場・火葬場管理事業費	一般	6-①	105,247		職員の接遇研修実施回数		→ 現状維持	112,049		職員の接遇研修実施回数		→ 現状維持		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						1回	1回				A	1回			
18	篠田山墓地管理事業費	一般	6-①	9,891		職員の接遇研修実施回数		→ 現状維持	11,339		職員の接遇研修実施回数		→ 現状維持		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						1回	1回				A	1回			

環境課 事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成29年度				平成30年度							
				予算額 (千円)	決算額 (千円)	活動指標			方針	予算額 (千円)	決算額 (千円)	活動指標			方針
19	斎場・火葬場施設整備事業費	一般	6-①	2,733	/	職員の接遇研修実施回数			↗ 拡大	22,383	/	職員の接遇研修実施回数			— 終了
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						1回	1回	A				1回			
20	篠田山霊苑施設整備事業費	一般	6-①	/	/	活動指標			/	2,850	/	活動指標			↗ 拡大
						12月までに工事を完了						12月までに工事を完了			
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
21	し尿業者許可事業費	一般	6-①	25	/	担当者会議開催回数			→ 現状維持	79	/	担当者会議開催回数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						2回	1回	C				2回			
22	し尿転送業務負担金	一般	6-①	7,480	/	受託業者との担当者協議開催回数			→ 現状維持	7,480	/	受託業者との担当者協議開催回数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						1回	1回	A				1回			
23	松阪地区広域衛生組合分担金	一般	6-①	339,303	/	担当者会議開催回数			→ 現状維持	368,201	/	担当者会議開催回数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						2回	2回	A				2回			
24	一般管理経費	特別	6-①	2,880	/	戸別合併処理浄化槽の新規設数			→ 現状維持	3,356	/	戸別合併処理浄化槽の新規設数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						40基	32基	B				40基			
25	施設維持管理事業費	特別	6-①	133,851	/	戸別合併処理浄化槽の新規設数			→ 現状維持	138,433	/	戸別合併処理浄化槽の新規設数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						40基	32基	B				40基			
26	生活排水処理施設整備事業費	特別	6-①	42,428	/	戸別合併処理浄化槽の新規設数			→ 現状維持	42,624	/	戸別合併処理浄化槽の新規設数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						40基	32基	B				40基			

環境課 事務・事業管理シート（ゼロ予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成29年度				平成30年度						
				予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標		方針	予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標		方針	
(1)	自治体新電力事業	/	-	/	/	プロポーザルの実施と新会社の設立		→ 現状維持	/	/	経営の安定化に向けた供給施設の拡大（当初供給予定施設の供給実施537件）		↗ 拡大	
						目標	実績				目標	実績		評価
						100%	100%				A	537件		

【課長シート】

組織名	清掃事業課	作成者（評価者）	課長 谷口 昌由
関係する 「実行宣言」	平成29年度	効率的かつ適正なごみ処理（分別、収集、処理）体制の構築について検討します。	
	平成30年度	環境学習の一環として、小学生を対象に「パッカー車によるごみ投入体験」や「ごみ分別学習」等の出前授業を行うことにより、小学生の時からごみに対する意識を高める取組を行います。	
関係する『総合計画』施策	6-② 資源循環型社会の推進		
課の基本方針と使命			
<p>ごみの適正な分別・収集・処理を市民と連携して取り組み、居心地が良いと感じられる環境にやさしいまちづくりを進めます。また、ムダなく資源が循環しているまちをめざし、3Rの推進、環境教育、啓発の推進等に取り組み、ごみ減量と再利用化の促進等を図ります。</p> <p>主な取組として</p> <p>①適正なごみ処理体制を維持するために「ごみの分け方・出し方」の周知や啓発、業務量に応じた人員配置による処理体制の強化等に取り組みます。</p> <p>②監視活動や啓発の推進により、不法投棄を発生させない環境づくりに取り組みます。</p> <p>③リサイクル施設の運転及び資源化処理として、資源物の圧縮・梱包や選別・破碎に取り組みます。</p>			

平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

No	事業名	活動指標	目標	評価
1	清掃一般経費	ごみカレンダー作成	68,000部	達成
2	塵芥収集事業費	不法投棄監視パトロール	3回/月	達成
3	廃棄物集積所設置補助金	補助件数	20件/年	達成
4	塵芥収集車購入事業費	塵芥収集車輛の計画的買替	1台/年	達成
5	塵芥処理一般経費	高須処分場跡地の清掃	3回/年	達成
		油川排水路の清掃	2回/年	

【達成できなかったこと】

・松ヶ崎公園管理事業費 松ヶ崎公園のグラウンド等の利用団体及び利用者数について700回、33,000人を見込んでいましたが、516回、23,358人の利用となりました。利用者数が見込みより減となった理由につきましては、グラウンド等が屋外の施設であり天候の影響があったと考えています。

利用者に対しては、施設の空き状況の照会や利用予約申請がインターネットを通じて出来る『松阪市体育施設予約システム』の利用を周知していきます。

清掃事業課 事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成29年度					平成30年度						
				予算額(千円)	決算額(千円)	活動指標			方針	予算額(千円)	決算額(千円)	活動指標			方針
1	清掃一般経費	一般	6-②	17,031	/	ごみカレンダー配布部数			→ 現状維持	14,040	/	ごみカレンダー配布部数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						68,000部	68,000部	A				68,000部			
2	松ヶ崎公園管理事業費	一般	-	13,310	/	活動指標			→ 現状維持	14,139	/	活動指標			→ 現状維持
						①利用団体 ②利用者数						①利用団体 ②利用者数			
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
				①700回	①516回	B	①500回			②23,000人					
3	塵芥収集事業費	一般	6-②	376,587	/	活動指標			→ 現状維持	377,068	/	活動指標			→ 現状維持
						不法投棄監視パトロール回数						不法投棄監視パトロール回数			
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
				3回/月	3回/月	A	3回/月								
4	廃棄物集積所設置補助金	一般	6-②	2,500	/	活動指標			→ 現状維持	2,500	/	活動指標			→ 現状維持
						補助件数						補助件数			
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
				20件	36件	A	20件								
5	塵芥収集車購入事業費	一般	6-②	28,964	/	活動指標			→ 現状維持	26,900	/	活動指標			→ 現状維持
						塵芥収集車輛等の計画的買替						塵芥収集車輛等の計画的買替			
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
				1台/年	3台/年	A	4台/年								
6	塵芥処理一般経費	一般	6-②	9,433	/	活動指標			→ 現状維持	12,950	/	活動指標			→ 現状維持
						①高須処分場跡地の清掃回数 ②油川排水路の清掃回数						①高須処分場跡地の清掃回数 ②油川排水路の清掃回数			
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
				①年3回 ②年2回	①年3回 ②年2回	A	①年3回 ②年2回								

清掃事業課 事務・事業管理シート（ゼロ予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成29年度				平成30年度							
				予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標		方針	予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標		方針		
(1)	出前授業 対象：市内小学生 パッカー車によるごみ投入体験、ごみ分別学習等		6-②			参加児童数			→ 現状維持			参加児童数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						20校 900人	24校 1,059人	A				20校 1,000人			
(2)	自治会等の要請によるごみ回収 地域の一斉清掃、草刈等に応じて収集する。		6-②			活動指標			→ 現状維持			活動指標			→ 現状維持
						出勤回数						出勤回数			
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						130回	年138回	A			130回				

【課長シート】

組織名	清掃政策課	作成者（評価者）	課長 竹川 福男
関係する「実行宣言」	平成29年度	3R活動等を推進し、一人一日当たりのごみ排出量900g以下をめざします。	
	平成30年度	3R活動等を推進し、一人一日当たりのごみ排出量900g以下をめざします。	
関係する『総合計画』施策	6-② 資源循環型社会の推進		
課の基本方針と使命			
<p>清掃政策課は、3Rの考え方を基本として、市民・事業・行政が連携してごみの適正な処理を行うとともに、ごみの発生抑制を図ることで、資源を有効に利用できる循環型のまちづくりをめざします。</p> <p>平成30年度は、新最終処分場施設整備事業を基本構想に沿って着手するとともに、旧第二清掃工場跡地に「資源物保管庫」を建設します。</p> <p>また、今年度実施する市民意識調査において、「ごみ減量化の施策として具体的にどのような取組が効果的か」という趣旨の調査を行い、調査結果から、2019年（平成31年）度以降の啓発事業につなげていきます。</p> <p>さらに、小学校を対象とした環境学習の実施、3Rサポーター活動の支援、ごみ減量に関する各種講座の開催、資源物集団回収補助金の推進、生ごみ堆肥化容器補助金制度の推進など、ごみの減量化と資源化の推進に取り組みます。</p>			

平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）
<p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害廃棄物の大量発生といった特殊要因を除くと、一人一日当たりのごみ量は904gとなり、ほぼ目標を達成しました。 ・啓発講座開催数は29回開催し、効果的な啓発を実施できました。 ・庁舎及び設備に関する苦情は0件であり、来庁者や電話対応の問い合わせに対して的確で丁寧な対応が徹底できました。 ・他市町・団体が集まる研修会等に参加した回数は6回であり、中でも、熊本市での災害廃棄物の実地研修は、有事の対応に生かせる効果的なものでした。
<p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三雲リサイクルセンターにおける資源の受け入れ量は301tとなり、目標を達成できませんでした。これは、人口が増加する三雲地区であっても、全体的な資源量、特に紙類の減少に影響を受けているものと考えます。加えて、スーパー等で展開する資源物回収が加速しており、そちらに出す市民も相当数いるものと考えます。 ・飯南・飯高地区における資源受け入れ量は前年と比べマイナス10%となり、目標を達成できませんでした。これは、全体的な資源量の減少に加え、人口減少の影響も受けたものと考えます。 ・生ごみ堆肥化容器等補助金の申請件数は47件となり、目標を達成できませんでした。これは、生ごみを燃えるごみとして出す手軽さを優先する市民がまだまだ多いことが考えられ、更なる啓発や制度工夫の検討が必要と考えます。 ・資源物集団回収活動における回収量は3,356tとなり、目標を達成できませんでした。これは、全体的な資源量、特に電子媒体の普及に伴う紙類の減少に影響を受けていることに加え、スーパー等で展開する資源物受け入れの影響も受けていると考えます。 ・ごみ処理基盤施設の建設について、ストックヤードの実施設計は完成しましたが、広陽公園仮置土撤去工事は完成に至りませんでした。これは、広陽公園仮置土の運搬にかかる関係者との調整に相当数の期間を要したことから、工事着手が遅れ、年度内完成に至らなかったものです。

清掃政策課 事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成29年度					平成30年度						
				予算額 (千円)	決算額 (千円)	活動指標			方針	予算額 (千円)	決算額 (千円)	活動指標			方針
1	リサイクル事業費	一般	6-②	58,505	/	活動指標			→ 現状維持	66,778	/	活動指標			→ 現状維持
						一日一人当たりのごみ量						一日一人当たりのごみ量			
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
				900g以下	904g	A					900g以下				
2	三雲リサイクルセンター管理事業費	一般	-	7,442	/	活動指標			▶ 統合	0	/	活動指標			— 終了
						資源の受け入れ量						※リサイクル事業費に統合			
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
				400t	301t	B					-	-	-		
3	飯南・飯高ごみ減量推進事業費	一般	-	1,510	/	活動指標			▶ 統合	0	/	活動指標			— 終了
						資源の受け入れ量増加率						※リサイクル事業費に統合			
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
				3%	-10%	B					-	-	-		
4	ごみ減量対策事業費	一般	6-②	3,763	/	活動指標			→ 現状維持	2,987	/	活動指標			↗ 拡大
						啓発講座開催数						啓発講座開催数			
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
				30回	29回	A					30回				
5	生ごみ堆肥化容器等購入補助金	一般	6-②	1,980	/	活動指標			→ 現状維持	1,941	/	活動指標			→ 現状維持
						補助金申請件数						補助金申請件数			
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
				100件	47件	D					100件				
6	資源物集団回収活動補助金	一般	6-②	18,787	/	活動指標			→ 現状維持	17,351	/	活動指標			→ 現状維持
						集団回収量						集団回収量			
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
				4,320t	3,356t	B					4,000t				
7	リサイクルセンター管理事業費	一般	6-②	15,329	/	活動指標			→ 現状維持	15,329	/	活動指標			→ 現状維持
						庁舎及び設備に関する苦情件数						庁舎及び設備に関する苦情件数			
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
				0件	0件	A					0件				
8	一般廃棄物処理基本計画等策定事業費	一般	-	/	/	活動指標			/	3,240	/	活動指標			↘ 縮小
						事業の進捗状況						事業の進捗状況			
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
											100%				
9	省資源再資源化一般経費	一般	6-②	1,528	/	活動指標			→ 現状維持	1,427	/	活動指標			→ 現状維持
						他市町・団体が集まる研修等に出席する回数						他市町・団体が集まる研修等に出席する回数			
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
				3回	6回	A					5回				

清掃政策課 事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成29年度				平成30年度							
				予算額 (千円)	決算額 (千円)	活動指標		方針	予算額 (千円)	決算額 (千円)	活動指標		方針		
10	ごみ処理基盤施設建設事業費	一般	-	156,056	/	事業の進捗状況		→ 現状維持	143,246	/	事業の進捗状況		— 終了		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						100%	60%				C	100%			
11	新最終処分場施設整備事業費	一般	6-②	/	/	活動指標		/	50,000	/	活動指標		↗ 拡大		
						事業の進捗状況					事業の進捗状況				
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
											100%				

【課長シート】

組織名	清掃施設課	作成者（評価者）	課長 堀口 英明
関係する 「実行宣言」	平成29年度	ごみ処理・処分施設の適正管理と発生するごみを迅速かつ衛生的に処理します。	
	平成30年度	新最終処分場施設整備について住民の理解を得て事業に着手します。	
関係する『総合計画』施策	6-② 資源循環型社会の推進		
課の基本方針と使命			
<p>清掃施設課は、施設の適正な運営管理とごみ処理を行うとともに、熱回収の循環的な利用を促進することにより、温室効果ガスの排出量を削減し、資源を有効に利用できる循環型社会の実現をめざし、周辺地域の環境保全に努めています。</p>			

平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）
<p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各施設の適正かつ計画的な維持管理ができ、焼却炉施設については、年間稼働日数は359日となり、効率的で安定したごみ処理を行うことができました。 ・最終処分場周辺地域の環境保全のため、放流水の水質検査を12回実施した結果、いずれも基準値以下でした。 ・上川町遊歩道公園の利用団体数は53団体で、利用者は6,218人でした。
<p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし

清掃施設課 事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成29年度					平成30年度						
				予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標			方針	予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標			方針
1	クリーンセンター管理事業費	一般	-	16,357	/	一般廃棄物を適正に処理するための年間稼働日数			→ 現状維持	16,423	/	一般廃棄物を適正に処理するための年間稼働日数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						350日	359日	A				350日			
2	最終処分場管理事業費	一般	6-②	8,566	/	周辺地域における処理水の水質検査の実施回数			→ 現状維持	9,542	/	周辺地域における処理水の水質検査の実施回数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						12回	12回	A				12回			
3	上川町遊歩道公園管理事業費	一般	-	11,022	/	①利用団体数 ②利用者数			→ 現状維持	12,021	/	定期的な草刈清掃等の実施			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						①35団体 ②2500人	①53団体 ②6,218人	A				3回/年			
4	ごみ処理事業費	一般	-	285,668	/	一般廃棄物を適正に処理するための年間稼働日数			→ 現状維持	295,754	/	一般廃棄物を適正に処理するための年間稼働日数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						350日	359日	A				350日			
5	最終処分場事業費	一般	6-②	54,251	/	周辺地域における処理水の水質検査の実施回数			→ 現状維持	56,486	/	周辺地域における処理水の水質検査の実施回数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						12回	12回	A				12回			
6	最終処分場施設整備事業費	一般	6-②	5,000	/	周辺地域における処理水の水質検査の実施回数			*** 定期	0	/	周辺地域における処理水の水質検査の実施回数			*** 定期
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						12回	12回	A				12回			

【課長シート】

組織名	戸籍住民課		作成者（評価者）	課長 北村 哉女
関係する 「実行宣言」	平成29年度	「証明書コンビニ交付事業」の開始を踏まえマイナンバーカードの普及に取り組めます。		
	平成30年度	オリジナル婚姻届けを作成することで市への愛着やイメージアップに繋がります。		
関係する『総合計画』施策	7-① 計画的な行政運営			
	7-② 市民との情報共有			
課の基本方針と使命				
<p>戸籍に関する届出や住民異動の手続き、各種証明書の交付などを行う窓口で、多くの個人情報を取り扱うため、常に慎重に取り扱いながら正確・迅速・丁寧を心がけた窓口サービスを行っています。</p> <p>平成30年2月から「証明書コンビニ交付サービス」を開始し、今後も市民のみなさんに活用していただけるようマイナンバーカードの普及促進に努めます。</p> <p>昨年11月には、市役所にお越しいただくご遺族の不安や事務的な負担を少しでも軽減できるよう、ライフステージに特化した窓口として「おくやみコーナー」を開設し、好評を得ていますので、引き続き、更なる利便性の向上をめざします。</p> <p>また、人生の大きな節目となる「婚姻」という大切なイベントに対し「お祝いの気持ち」を形として表せるような取組を実施してきました。今年度は、届出時の大切な思い出づくりのお手伝いとして「ご当地婚姻届」を作成します。戸籍住民課では、引き続き市役所を身近に感じ、市民のみなさんとの距離を縮めていけるよう努めます。</p>				

平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）	
<p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードの申請率が12.6%となり目標（10%）を達成できました。 ・証明書コンビニ交付での証明書発行率は、2月1.2%、3月1.0%で目標（1%）を達成できました。 ・結婚お祝い事業に関するアンケートでは、利用者の83%の方が「良い」と回答しています。 ・「おくやみコーナー」に関するアンケートでは、利用者の92%の方が満足と回答しています。 ・平日、午後8時までの時間外窓口の実施については、「広報まつさか」をはじめ、バスマスク等で周知を行った結果、毎日平均10人程度の方にご利用いただいています。 ・戸籍住民課業務に必要な研修の受講や課内での研修などスキルアップに努めました。 ・接遇チェックシートにより個々で気づいたことや要望などを書き込み、課内で公表、話し合いすることで業務改善、接遇向上等に取り組めました。 	
<p>【達成できなかったこと】</p> <p>・窓口でのお客様の待ち時間短縮については、窓口案内（コンシェルジュ）の配置や職員間の連携により対応しましたが、お客様の待ち時間の短縮には至りませんでした。戸籍の請求に当たっては、個々の聞き取りが必要となり、1件の処理時間がかかってしまうことや、転入、転居、氏名変更については、マイナンバーカード・マイナンバー通知カードの裏面に変更内容を記載することになっており、家族全員の変更となると複数枚のカード裏面記載となるなど処理に時間がかかってしまうことが短縮に至らない要因でした。</p>	

戸籍住民課 事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成29年度				平成30年度							
				予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標			方針	予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標			方針
1	個人番号カード交付事業費	一般	7-①	30,498	/	マイナンバーカードの申請率			↗ 拡大	23,797	/	マイナンバーカードの申請率			↗ 拡大
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						10%	13%	A				14%			
2	証明書コンビニ交付事業費	一般	7-①	61,871	/	コンビニ交付での申請書発行率			↗ 拡大	14,120	/	コンビニ交付での申請書発行率			↗ 拡大
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						1%	1%	A				1%			
3	結婚お祝い事業費	一般	7-①	2,600	/	アンケート結果の満足度			↗ 拡大	2,145	/	オリジナル婚姻届書の作成			— 終了
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						80%	83%	A				8月完成			
4	戸籍住民基本台帳一般経費	一般	-	39,602	/	窓口でのお客様待ち時間短縮			→ 現状維持	44,064	/	おくやみコーナーワンストップ率			↗ 拡大
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						10%	0%	E				40%			

【課長シート】

組織名	地域安全対策課	作成者（評価者）	課長 越川 元博
関係する 「実行宣言」	平成29年度	交通事故死傷者数748人及び刑法犯認知件数1,374件（平成28年度）以下をめざします。	
	平成30年度	交通事故死傷者数646人及び刑法犯認知件数1,240件（平成29年度）以下をめざします。	
関係する『総合計画』施策	5－① 交通安全対策の充実		
	5－② 防犯対策の充実		
課の基本方針と使命			
<p>地域安全対策課は、課名が示すように『松阪市の安全』を担うことを業務としている部署であり、この目的を達成するため、2つの柱を構築し、事業を進めています。</p> <p>一つ目の柱は、「交通安全対策の充実」です。</p> <p>様々な交通安全対策を通じて、松阪市民の交通ルールの遵守と交通マナーの向上に取り組み、交通事故死者数ゼロをめざします。</p> <p>二つ目の柱は、「防犯対策の充実」です。</p> <p>地域や関係団体と連会をした防犯対策事業に取り組み、安全で安心なまちづくりを進め、刑法犯認知件数の半減をめざします。</p>			

平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）
<p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全啓発における啓発者数延べ人数 ・地域交通安全対策活動において地域での交通安全教室の開催 ・自転車対策における放置自転車啓発の延べ人数 ・安全・安心なまちづくりの推進における「安全・安心施策推進協議会」等の開催回数 ・防犯対策における防犯啓発活動等の開催回数
<p>【達成できなかったこと】</p> <p>交通安全教育推進事業における交通安全教室延べ参加人数が目標に達していません。</p> <p>交通安全教育推進事業は、幼小中、高校をはじめ老人会などの団体に対し交通教育指導員「とまとーず」による交通安全教室において、交通ルールの順守やマナーについて正しく、分かりやすく伝えることで、交通安全意識の醸成、行動の実践に繋げ交通事故のない社会をめざすものです。このことから、各学校、団体へ働きかけを行っていますが、開催回数が例年より少なかったため目標に達しませんでした。当事業は特に社会人としての基盤を形成する層を対象としており、交通安全対策としては非常に重要な事業であり、今後も継続していきます。</p>

地域安全対策課 事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成29年度				平成30年度							
				予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標		方針	予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標		方針		
1	交通安全啓発事業費	一般	5-①	7,438		交通安全啓発延べ人数		↗ 拡大	6,522		交通安全啓発延べ人数		↗ 拡大		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						6,000人	7,950人				A	6,300人			
2	交通安全教育推進事業費	一般	5-①	9,656		交通安全教室延べ参加者数		↗ 拡大	9,150		交通安全教室延べ参加者数		↗ 拡大		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						22,500人	18,150人				B	22,700人			
3	地域交通安全対策活動事業費	一般	5-①	2,929		地域での交通安全教室開催回数		↗ 拡大	2,559		地域での交通安全教室開催回数		↗ 拡大		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						26回	41回				A	40回			
4	自転車駐車対策事業費	一般	5-①	9,247		放置自転車対策啓発延べ人数		↗ 拡大	9,316		放置自転車対策啓発延べ人数		↗ 拡大		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						5,000人	5,100人				A	5,300人			
5	交通安全対策一般経費	一般	5-①	5,979		交通安全啓発延べ人数		↗ 拡大	5,723		交通安全啓発延べ人数		↗ 拡大		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						6,000人	7,950人				A	6,300人			
6	安全・安心なまちづくり推進事業費	一般	5-③	1,762		安全・安心施策推進協議会等の開催回数		→ 現状維持	2,356		安全・安心施策推進協議会等の開催回数		→ 現状維持		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						3回	3回				A	5回			
7	防犯対策事業費	一般	5-③	18,944		防犯啓発活動等の開催回数		↗ 拡大	14,692		防犯啓発活動等の開催回数		↗ 拡大		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						10回	15回				A	12回			
8	防犯カメラ設置補助金	一般	-			防犯カメラの設置台数			1,000		防犯カメラの設置台数		→ 現状維持		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
												10台			

【課長シート】

組織名	人権・男女共同参画課	作成者（評価者）	課長 西 澄子
関係する 「実行宣言」	平成29年度	こころの相談窓口の周知や関係機関、団体との連携により自殺者数26人以下をめざします。	
	平成30年度	こころの相談窓口の周知や関係機関、団体との連携により自殺者数26人以下をめざします。	
関係する『総合計画』施策	4－④人権の尊重		
	4－⑤男女共同参画の推進		
課の基本方針と使命			
<p>人権・男女共同参画課は、市民一人ひとりの人権が尊重され、障がい者、高齢者、女性、子ども、外国人への差別や部落差別など、あらゆる差別をなくすための人権意識を高め、すべての人々が希望と誇りを持って社会に参加できる地域社会の実現をめざします。</p> <p>市民が性別にかかわらず個人として尊重され、責任も分かちあい、個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現をめざします。</p> <p>誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現のため自殺対策に取り組みます。</p>			

平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）
<p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラザ鈴閉館にあたり、講座生の受け入れ先について、市内各施設に関する詳細な情報提供、ヒアリング等みなさんの意向に沿えるようできる限りの努力を行いました。その結果、一部廃止となる講座もありましたが、引き続き講座を開設していただけることになりました。
<p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権図画ポスター応募者数 目標770人のところ564人と目標達成度73%でした。 （小中学校へ依頼した結果、応募が少なかったことによるものです） ・人権講演会参加者数 目標400人のところ300人と目標達成度75%でした。 （啓発において、チラシ配布、広報掲載等で周知したものの参加者数は達成出来ませんでした。講演会の内容の発信不足であるため、啓発方法を検討する必要があります。） ・自殺者数 目標26人のところ30人でした。一人でも多くの方が相談窓口へ辿りつけるよう、「相談窓口」の周知や「合同相談会」の開催を引き続き行います。 ・松阪フォーラム参加者数、目標450人のところ350人と目標達成度78%でした。 （啓発において、チラシ配布、広報掲載等で周知したものの参加者数は達成出来ませんでした。講演会の内容の発信不足であるため、啓発方法を検討する必要があります。）

人権・男女共同参画課 事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成29年度					平成30年度						
				予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標			方針	予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標			方針
1	人権啓発活動推進事業費	一般	4-④	1,745	/	人権図画ポスター応募者数			→ 現状維持	1,942	/	人権図画ポスター応募者数			▶ 統合
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						770人	564人	B				600人			
2	人権啓発事業費	一般	4-④	5,183	/	人権講演会参加者数			→ 現状維持	5,097	/	人権講演会参加者満足度			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						400人	300人	B				95%			
3	人権施策推進事業費	一般	4-④	501	/	人権関係職員等養成講座受講者数			→ 現状維持	403	/	人権関係職員等養成講座受講者数			▶ 統合
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						40人	38人	A				40人			
4	多文化共生推進事業費	一般	4-④	1,064	/	イベント参加者数			→ 現状維持	1,064	/	イベント参加者数			▶ 統合
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						4,500人	4,800人	A				4,500人			
5	地域自殺対策強化事業費	一般	4-④	1,215	/	自殺者数			→ 現状維持	1,700	/	自殺者数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						26人	30人	B				26人			
6	生活オリエンテーション事業費	一般	4-④	6,876	/	通訳、翻訳対応件数			→ 現状維持	6,933	/	通訳、翻訳対応件数			▶ 統合
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						6,000件	8,712件	A				8,000件			
7	人権啓発一般経費	一般	4-④	1,536	/	三重県人権・同和行政連絡協議会の研修内容の課内研修			→ 現状維持	1,509	/	三重県人権・同和行政連絡協議会の研修内容の課内研修			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						1回	1回	A				1回			
8	男女共同参画行政推進事業費	一般	4-⑤	2,331	/	松阪フォーラム参加者数			→ 現状維持	2,230	/	男女共同参画松阪フォーラム参加者満足度			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						450人	350人	B				95%			
9	男女共同参画一般経費	一般	4-⑤	2,863	/	松阪市男女共同参画審議会開催			→ 現状維持	3,934	/	松阪市男女共同参画審議会開催			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						2回	2回	A				3回			

人権・男女共同参画課 事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成29年度					平成30年度						
				予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標			方針	予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標			方針
10	プラザ鈴管理運営事業費	一般	4-⑤	11,499	/	主催講座開催数			— 終了	0	/	-			— 終了
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						10講座	9講座	A				-	-	-	
11	プラザ鈴解体事業費	一般	4-⑤	/	/	活動指標			/	142,320	/	解体工事進捗			— 終了
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						/	/	/				100%	/	/	